

授業改善プラン

教科（ 体育 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	習熟度別に、達成目標を変えて指導する場面を設ける。	体力テストの結果を見ると、女子では長座体前屈、男子は20mシャトルランの値が低い傾向にある。	柔軟性については体ほぐし運動を取り入れ、持久力に関しては縄跳びや長距離走に取り組む。		
	思考力・判断力 表現力	グループ活動の学び合いを通して、お互いに教え合い自らの技能についても考え、フィードバックさせる。	マット・跳び箱運動では、クロムブックで見本の動画を見た後に実践し、自分の試技の参考にした。	自分の試技を撮影し、フォームを確認した上で修正していくことを今後の課題とする。		
	主体的に学習に 取り組む態度	生徒同士の励ましの声掛けを意識させ、明るい雰囲気づくりを心掛けることで運動する楽しさや喜びを経験する。	器械運動では生徒によって主体性に差が顕著に見られた。柔道は受け身や固め技をどの生徒も意欲的に行った。	器械運動が苦手な生徒には、マットに傾斜をつけて回転しやすくしたり、跳び箱の段数を工夫して取り組んだ。		
2 年 生	知識・技能	学習カード（振り返り、技術ポイント）やクロムブックを活用し、運動全般の知識を深めていく。	体力テストの結果を見ると、女子では20mシャトルランが低く、男子は上体起こしの値が低い。	持久力に関しては縄跳びや長距離走に取り組み、筋力については体幹運動を取り入れる。		
	思考力・判断力 表現力	グループ活動による教え合う場面設定をさらに増やすことで自らの技能についてフィードバックさせる。	マット運動では、昨年クロムブックで撮影した自分の連続技を見て新たに構成を考え今回の試技の参考にした	今年度撮影した動画をもとに、来年度さらに難易度を上げた技に挑戦する		
	主体的に学習に 取り組む態度	IT 機器を活用しお互いの課題や解決方法を見つけ合うことで運動への興味関心をさらに高める。	1年時に比べ、器械運動に対して取り組む姿勢が意欲的な生徒が増えた。	多くの場面で意欲の向上や主体性、協調性が見られるようになった。		
3 年 生	知識・技能	学習カード（振り返り、技術ポイント）やクロムブックを活用し、運動全般の知識を深めていく。	体力テストの結果を見ると、男女とも握力の値が全国・都に比べると低い。	握力に関して、タオル絞りや、ソフトボールでのバッティングで物を握る機会を増やす。		
	思考力・判断力 表現力	グループ活動による教え合う場面設定をさらに増やすことで自らの技能についてもフィードバックさせる。	水泳の水中動作の映像を見た後、陸上で動きを全員で確認してイメージを身につけた。	動画で自分のフォームを確認することで、言葉でのアドバイスをより具体的に行うことが出来た。		
	主体的に学習に 取り組む態度	IT 機器を活用しお互いの課題や解決方法を見つけ合うことで運動への興味関心をさらに高める。	器械運動ではお互い教え合う場面が多く見られた。柔道は男女とも意欲的に取り組んだ。	マットや跳び箱で教え合う場面や、運動会での大縄跳びをリーダー中心に練習する場面が多く見られた。		

カリキュラムマネジメントの視点から